

北あきたの逸品

地域自慢の特産品

伝統食や文化が育んだ商品が、受け継がれ地域の活性化につながっています。
また、市内の農林業の活用による新たな逸品開発等のものづくりが進んでいます。

北あきたバター餅

「北あきたバター餅」は、もち米を蒸かしてバターや卵黄、砂糖を練り込みながらついたお餅で、テレビ等でも紹介された、この地域を代表するスイーツです。



山刀 (ながさ)

北秋田市阿仁地区にはマタギと呼ばれる猟師が存在し、そのマタギが猟をするために実用一点張りで作られたのが「又鬼山刀 (マタギナガサ)」です。

全国でも数少ない存在になってしまった鍛冶職人が、マタギの誇りを受け継ぎこの山刀が作られています。



秋田八丈

八丈島で生まれ伝わった草木染めの絹織物で、秋田では「秋田黄八丈」と呼ばれ、人気を博していましたが、秋田市にあった工房が操業を停止。いったんその歴史に幕をおろしましたが、当地出身の工房職人が平成18年に復活を果たしました。



北秋田の大地が

育んだ恵み



秋田もつ鍋きりたんぽ



比内地鶏ご飯・スープ



比内地鶏きりたんぽセット



どぶろく (マタギの夢)